

生物多様性保全のための農村環境評価手法の開発

概要: 生物多様性保全上重要な地域の代表種と農法や水路等農業施設の整備方法及び周辺環境等との関係性を解明し、代表種にとって好ましい条件を農村環境に生息する生物の状態から判断する簡易な評価方法を開発する。

①目標とする生物多様性の設定



地域ごとに自然科学的、経済学的な観点から選ばれた生物を地域住民の合意を経て代表生物として選定

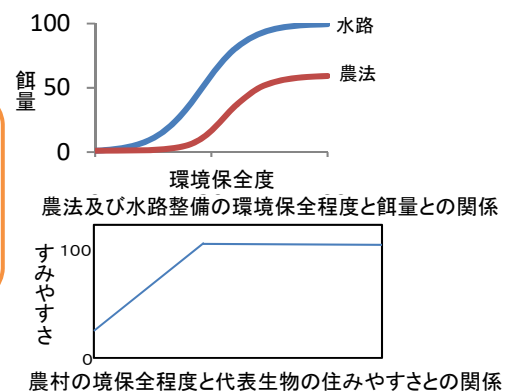
②農法及び農村整備方法の違いが代表種の生息条件に及ぼす影響の解明



代表種にとっての農村環境の役割

農法の違いや水路等農業施設の整備方法の違いにより代表種のすみやすさがどのように変わるかを定量的に評価

解析の例

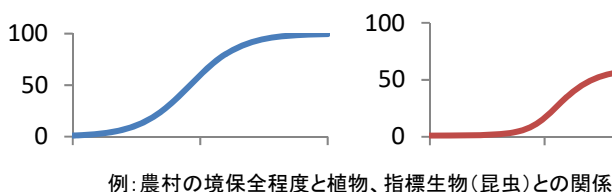


③簡易評価手法の開発

代表種が鳥の場合、調査には専門知識が必要で生産現場での評価は困難

②で明らかとなった関係を、現地で簡易に評価できるよう植物、指標生物等の調査が容易な種で代替する手法を開発

マニュアル化
環境保全型農業への貢献



夏原由博